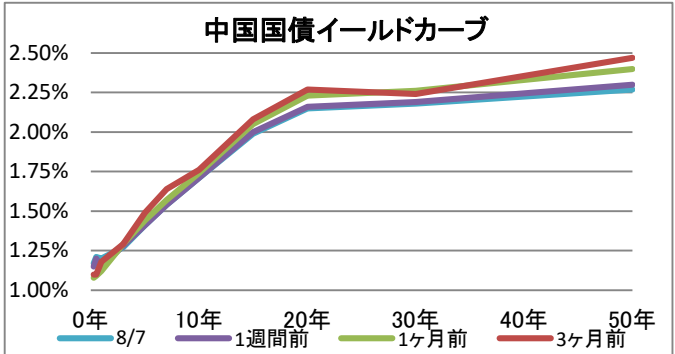
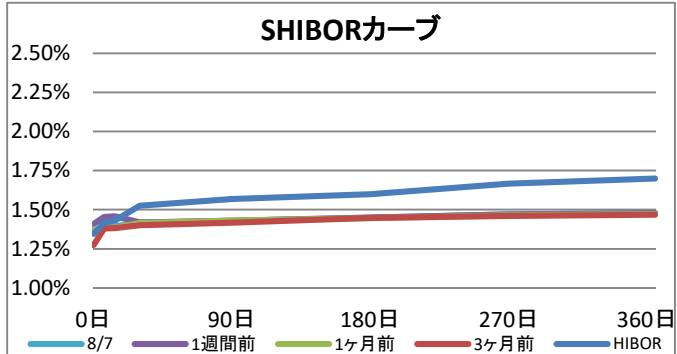


1. 市場概況

基準レート		2026/8/7	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7904	+0.0010
	JPY/CNY	4.2791	+0.0588
SHIBOR	3M	1.4300%	+0.0000%
国債利回り	10年	1.71%	+0.00%
上海総合指数		3,940.04	+107.78



(1) 概況

国際金融市場は、中東情勢の改善によるホルムズ海峡再開への期待から原油価格が下落すると、リスクオンとなって株式市場、債券市場とも堅調となり、合意に向けた調整の難航が伝わりとリスクオフに転じたが、米雇用統計が予想外の減少に転じて利上げ観測が後退すると、買い戻しにより株式市場は上げ幅を拡大し、債券利回りも低下幅を拡大し、外為市場ではドルが弱含みで小幅な値動きに終始し、金とビットコインは買戻しが続く展開となった。

中国金融市場では、株式市場でのハイテク関連株式の評価を巡って下落が始まった後に買戻しから上昇に転じ、債券市場では中東情勢改善期待と軟調な経済指標から底堅く推移し、外為市場ではドルがやや軟調となる中、中国人民銀行の元高抑制姿勢もあって、1ドル=6.75前後の極めて小幅な値動きに終始。

中国では、習主席が中央政治局学習会議において、軍の反腐敗運動と国防近代化を推進する必要性を強調し、李強総理は、中央政治局会議で示された下半期経済方針を受けて、国务院常务会议で波及効果の大きい分野を捉えた有効な対策を打ち出す方針を示し、国务院は、「集積回路設計保護条例」を改訂し、登録手続きの整備や著作権の保護強化、集積回路設計情報の利用促進等を規定。中国人民銀行は、本年下半期の主要業務として、適度に緩和的な金融政策の継続のほか、銀行貸出市場における営業行為の適正化や融資にかかる中間費用の低減促進等の方針を示し、国家外貨管理局は、本年下半期の主要業務として、クロスボーダー投融資の利便性強化、IT企業や中小企業に対する外為サービス改善、AIやビッグデータ等の新技術を活用した外為市場取引への監督強化等を図る方針を示した。なお、米中関係では、米国による強制労働等を問題視した輸入禁止対象先の拡大等に対して、中国政府は、米7企業・団体との取引禁止や米国向けドローン及び関連技術の輸出管理厳格化、米機関による中国工場に対する強制認証検査制限等の措置を決定。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日12,420億元に対して、アウトライトリバースオペ期日3,000億元、翌日物リバースオペ期日6,000億元に対して、リバースオペ1,165億元、アウトライトリバースオペ（3M）5,000億元を実施し、15,255億元を吸収。

(3) 主な経済指標

RatingDogPMI（7月）は、製造業が50.9（6月、51.7）、サービス業が50.4（同、54.1）と、いずれも50を上回ったが、サービス業を中心に前月から低下。製造業、サービス業とも雇用は改善したものの、新規受注や生産、事業活動のペースが鈍化し、全体を押し下げた。この結果、総合では、50.8（同、53.6）と1年振りの低水準となった。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3610%	1.3610%	1.3628%	
1W	1.3910%	1.3900%	1.4089%	1.3700%
2W	1.3953%	1.4200%	1.4225%	1.3800%
1M	1.4167%	1.4000%	1.4333%	1.4000%
3M	1.4300%	1.9500%	1.4500%	1.4300%
6M	1.4501%			1.4600%
9M	1.4700%			1.4800%
12M	1.4800%			1.4900%

中国人民銀行は、月初の資金余剰の状況に対し、前月末からの翌日物リバースオペを含む余剰資金を日々の資金供給額を最小限にする格好で急速に吸収しているものの、金利水準は低位で安定。ターム物は、引き続き1カ月が1.4%台半ばで出合っている。

NCD市場の金利水準も、前週末の水準から概ね変化なく、ターム物の金利水準は1カ月から5カ月（12月末）までが1.4%台前半、6カ月が1.45%前後、1年は1.4%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.69%	3.70%
1W	3.73%	3.75%
1M	3.85%	3.90%
3M	3.90%	3.95%
6M	4.10%	4.15%
12M	4.15%	4.25%

中国国内市場では、利上げ懸念から出し手が限定的となり、需給が一段とタイトとなっており、ターム物は1カ月が3.8%台後半、3カ月が3.9%台前半で出合っている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.17%		1.40%	1.48%	1.52%
6M	1.21%		1.44%	1.50%	1.54%
1Y	1.20%	1.27%	1.49%	1.52%	1.57%
3Y	1.27%	1.36%	1.56%	1.62%	1.76%
5Y	1.41%	1.50%	1.63%	1.74%	1.93%
10Y	1.71%	1.78%	1.97%	2.08%	2.55%

米国債券市場は、中東情勢に対する改善期待で堅調に始まったものの、ホルムズ海峡開放への懸念が高まり原油価格が下げ幅を縮めると債券も反落したが、雇用統計が予想外の減少となると買戻しから再度上昇に転じて週末を迎えている。

中国債券市場は、中東情勢改善期待とやや軟調な経済指標から底堅く、小幅な値動きに終始。イールドカーブは、小幅に下方シフトしてややフラットニングし、クレジットスプレッドは信用債の利回り低下幅が大きく小幅縮小。

この結果、10年米国国債利回りは4.65%（前週末比-8p）へと低下に転じる一方、10年中国国債利回りは1.71%（同±0bp）と変わらなかったことから、利回り差は294bp（同-8bp）に縮小。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-143.0 / -141.0
3M	-440.0 / -439.0
6M	-913.0 / -912.0
9M	-1,336.0 / -1,335.0
12M	-1,805.0 / -1,804.0

対ドル基準レートは6.7904と前週末比+10pipsのドル高元安、対円基準レートは4.2791と同+588pipsの円高元安と、対ドル基準レートは、2023年2月以来の元高水準を続けているものの、市場実勢比ではやや大幅な元安水準となっており、市場でのドル安による元高を牽制。

中国国内市場では、先週末の日米協調介入や中東情勢改善期待からドルが弱含む中、中国人民銀行が実勢比元安水準での基準値設定を続けたことや米雇用統計を控えていることから、1ドル=6.75を挟んだ小幅な値動きに終始。

先物は、FRBの利上げ懸念から金利差は拡大傾向となったものの、ドル安元高となったことから先物のドル買いも入り、ディスカウント幅は概ね変化なく、1年物は-1,800を挟んだ小幅な値動きに終始。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.43%		1.41%
6M	1.42%	1.45%	1.41%
9M	1.41%	1.45%	1.39%
1Y	1.41%	1.45%	1.38%
3Y	1.43%	1.47%	1.44%
5Y	1.49%	1.54%	
7Y	1.54%	1.61%	
10Y	1.60%	1.69%	

金利スワップ市場は、債券市場が材料難から小幅な値動きが続けていることもあり、スワップレートも概ね前週末の水準での小幅な値動きとなり、スワップスプレッドも概ね変化なかった。

6.その他（週末に公表された経済指標等）

- ・CPI（7月）は、前年比+0.5%（6月、同+1.0%）と、食品や自動車等の下落が続き、燃料価格の伸びが大幅に縮小したこと等を主因に低下。食品とエネルギーを除くコアも同+0.9%（6月、同+1.0%）に減速しており、前月比では-0.1%（同、同-0.3%）と、3カ月連続の下落。
- ・PPI（7月）は、前年比+3.5%（6月、同+4.1%）と、5カ月連続の上昇ながら、4年ぶりの高い伸びとなっていた6月から伸び鈍化。生産財の伸びが鈍化し、消費財の下落が続き、前月比では-0.7%（6月、同-0.3%）と、2カ月連続の下落。
- ・イランは、ホルムズ海峡の開放に応じる条件として、米国に被害の補償等を要求し、交渉は停滞。
- ・イスラエルのネタニヤフ首相は、トランプ大統領が主導するガザ地区の和平実現工程表を拒否。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入